

# みんなで調べる 愛媛の生きもの(初級編)

## スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)



水稻稚苗を食害する南米原産の外来種です。愛媛県では1986年に野生化したスクミリンゴガイが松山市と宇和島市の水田で確認されました。在来種のタニシと異なり、卵で増える貝です。

**主な生息場所**：平野部の水田や用水路

**見分けるポイント**：水田や河川の水際にピンク色の卵（卵塊）を産卵します。

## ニホンアマガエル



県全域に生息しています。水田では5～7月に鳴き声が聞こえます。

オタマジャクシは愛媛のオタマジャクシの中で一番目が離れています。

**主な生息場所**：県下全域の水田

**見分けるポイント**：外観が良く似たカエルはシュレーゲルアオガエルです。シュレーゲルアオガエルは山際の水田で産卵しますが、成体が見つかることは稀です。



シュレーゲルアオガエルとニホンアマガエルの違い

シュレーゲルアオガエルは鼻から目にかけての茶褐色のラインがありません

シュレーゲルアオガエルの鼓膜は体色と同じ色です。

シュレーゲルアオガエル

## アカハライモリ



オスは全長8センチ程度ですが、メスは10センチ程度になります。全身が黒色または暗褐色で、主に水中で生活していますが、幼体時期に陸上に移動することが分かっています。

**主な生息場所**：水田や用水路

**見分けるポイント**：成体は腹部が赤く、黒色の斑紋があるのが特徴です。

## アメリカザリガニ



アメリカからウシガエルの餌として持ち込まれた外来種です。流れのある河川よりも、用水路やため池で見られます。

**主な生息場所**：平野部の用水路など

**見分けるポイント**：愛媛県では淡水域の在来種で類似種はいませんので判別は容易です。